

竹取物語新聞

第 120 号 2016 年 3 月号
発行：NPO 法人森林ボランティア
竹 取 物 語 の 会

穂谷の牧場の竹伐採活動を

立春もひと月あまり過ぎ、少し暖かになり、久しぶりに活動に参加しました。作業は田辺牧場横に生えている竹の間伐です。この場所は 7～8 年前にも伐採したことがあり、懐かしく思われました。竹の間伐は、枯竹・古い竹・若くても細かったり、曲がった竹を選びながら、傘を開いて通れる間隔にするのが良いとされています。なにぶん急斜面のため、それを考えずの

間伐です。総勢 20 数名は、足場の悪い斜面を登り間伐する班と下で玉切りと枝落としの処理する班に分かれての作業でした。牧場から途中牛乳とドーナツの差し入れがあり、濃い牛乳の味は格別でほっと一息つきました。地元の人たちとの長年培って来た信頼関係が、あったからこそ出来る作業だと思いながら帰路につきました。
(生田國雄)

竹炭窯の改修工事を

1 月の理事会で、竹炭窯の改修が承認され、2 月末から竹炭窯の改修を始めました。2010 年末から 2011 年初めにかけて行った前回の改修より 5 年が経ちました。この間、何度使いどれほどのことが出来たのか？誠に心許なく、同時に年月の過ぎる早さを感じているところです。

今回、改修を願い出たのは、窯が老朽化してきていた折、提供を受けた空ドラム缶を目にしたからです。よりよい窯に生まれ変わらせることができるのか？不安もありますが、会員の皆さまのご意見等も頂きながら、よりよい窯ができればと考えております。
(吉田善彦)